

第25回精神科薬物療法研修会参加者アンケート集計結果

開催日時： 2015年4月12日(日) 9:50~15:40

開催場所： 大宮法科大学院大学 OLSビル講堂

講演1: 「抗精神病薬の切り替えを成功させるには」
慈圭会 慈圭病院 副院長 武田 俊彦 先生

講演2: 「統合失調症はなぜ短命なのか」
静和会 浅井病院 院長 秀野 武彦 先生

講演3: 「精神科患者における低Na血症と水中毒のリスクファクター」
白翔会 浦和神経サナトリウム 院長 菊池 章 先生

講演4: 「アリピプラゾールの最新の話」
大塚製薬(株) 大宮支店学術課CNS・精神領域担当 平松 雄之 先生

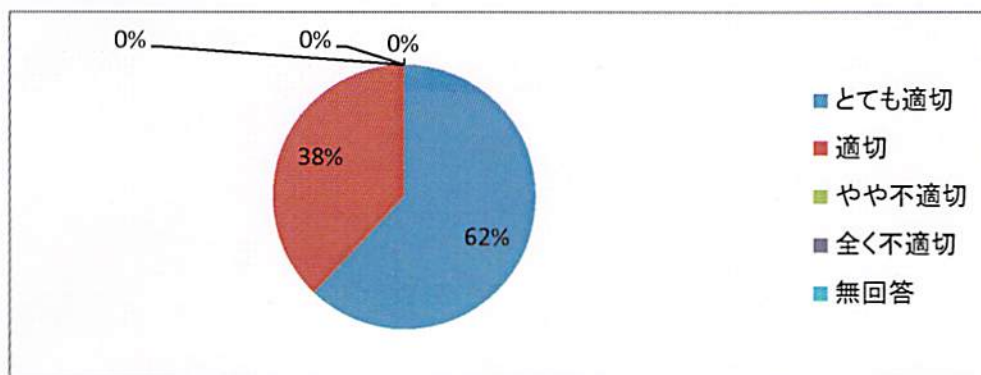
総合評点
3.4
(4件尺度)

研修者数	アンケート提出数	アンケート回収率	アンケート意見あり(枚)
59	58	98%	17

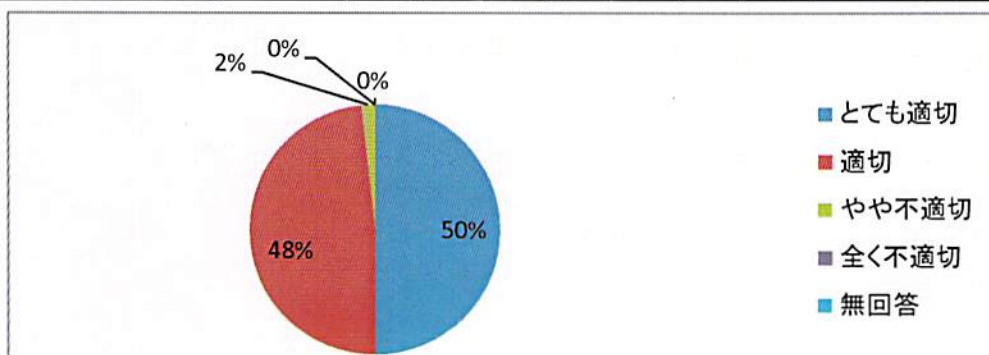
評価記入---4. とても適切 3. 適切 2. やや不適切 1. 全く不適切

1. 講演テーマについて

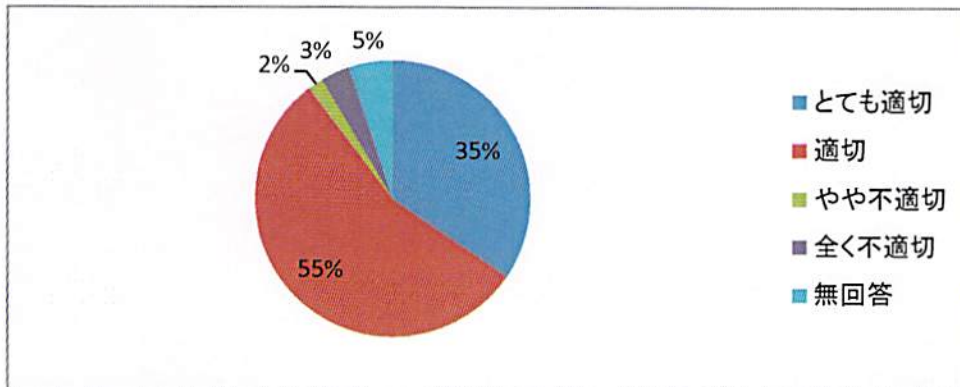
1-①	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	36	22	0	0	0	3.6



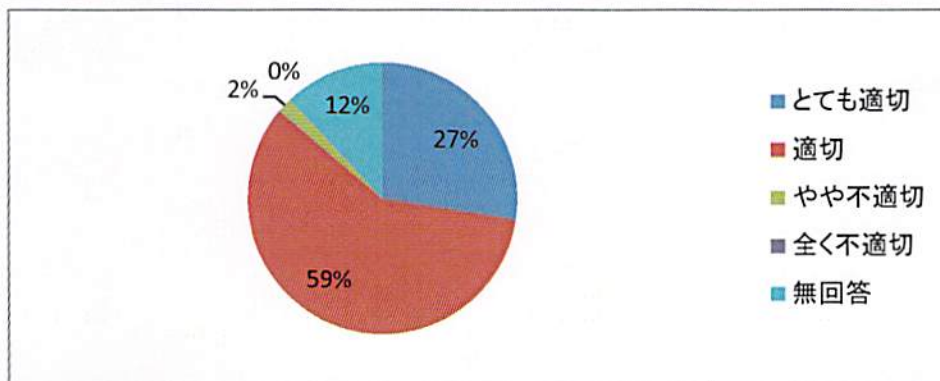
1-②	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	29	28	1	0	0	3.5



1-③	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	20	32	1	2	3	3.3

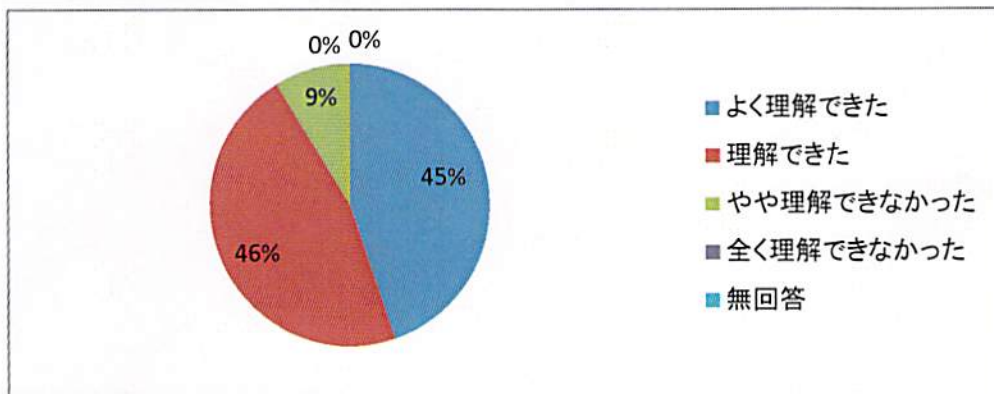


1-④	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	16	34	1	0	7	3.3

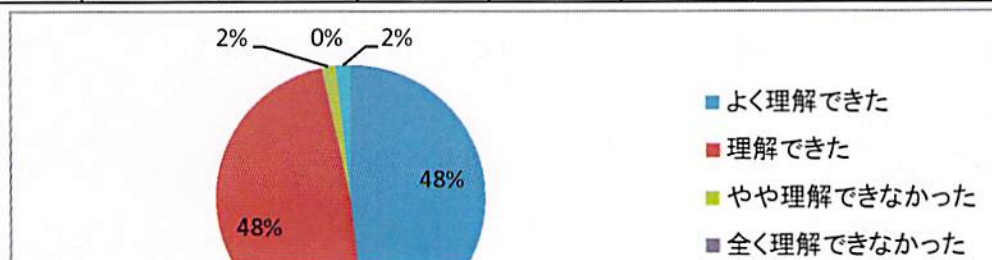


2. 講演内容について

2-①	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	26	27	5	0	0	3.4

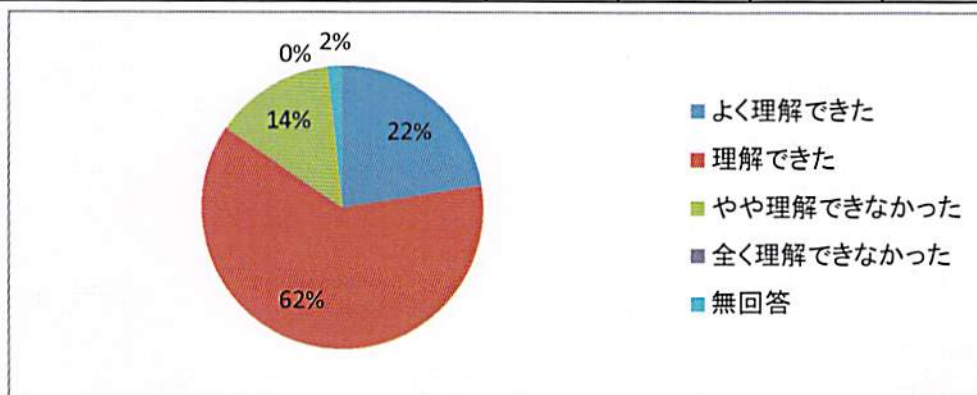


2-②	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	28	28	1	0	1	3.5

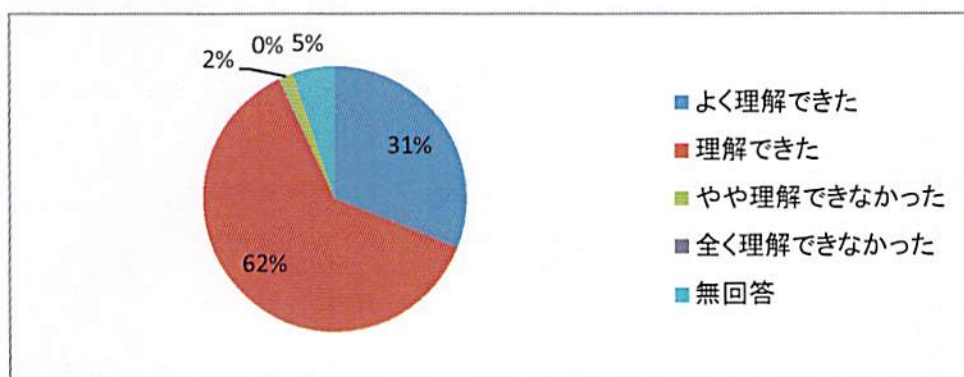




2-③	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	13	36	8	0	1	3.1

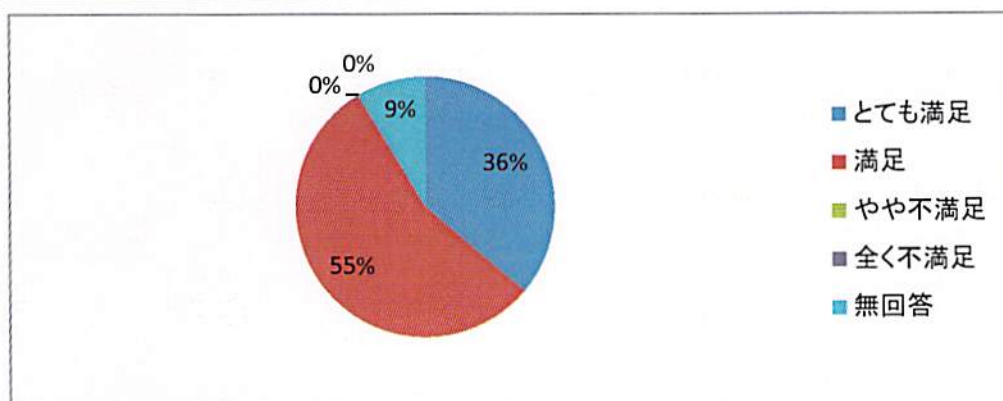


2-④	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	18	36	1	0	3	3.4



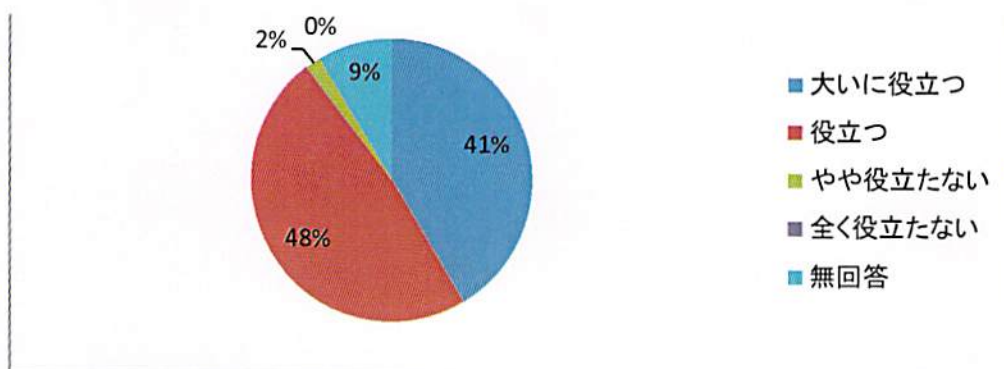
3. 本研修会の印象について

3	とても満足	満足	やや不満足	全く不満足	無回答	平均
	21	32	0	0	5	3.4



4. 本研修会は今後の業務に役立つか

4	大いに役立つ	役立つ	やや役立たない	全く役立たない	無回答	平均
	24	28	1	0	5	3.4



アンケート意見（17枚）

1. 講演テーマについて		
1-①	分かりやすかった	1
	ポイントが分かった	1
1-②	肥満やフレイルは統合失調症に限らず参考になった	1
	あらゆる理由があるのが分かった	1
1-③	よく知らない病態だったので役立った	1
2. 講演内容について		
2-①	今後の参考になった	2
	精神科の病院ではないので知識不足だった	1
	多剤併用時の切替方法が難しかった	1
2-③	面白いテーマだった	1
	自分の知識がなかった	1
	よく分からなかった	1
4. 本研修会で学んだことは今後の業務に役立つか		
	精神科の患者がいらないためやや役立たない	1
5. 今後取り上げてほしいテーマについて		
	精神科内感染症	1
	精神科で使われる漢方の使用法、効果、組み合わせ	1
	精神疾患領域の今後の薬物療法のあり方	1
	自閉症の長期治療について	1
	C型肝炎治療（ダクトルインザ・スンペプラ治療での注意点）	1
	薬物相互作用について	1
	発達障害と薬物療法	1
	水中毒についての具体的な対処法	1
	今回のように内科的疾患で病態も加えてほしい	1
	疼痛の訴えに対する抗うつ薬の使い方	1
	睡眠	1
	VCM、TEIC等TDMの必要な抗生剤に関連したテーマ	1
	チーム医療	1
6. 本研修会で気づいたこと・質問・希望		
	講演3は斬新で面白かった	1
	低Na血症、水中毒の話は始めてだった	1
	それぞれの講演ごとに、きちんと資料をもらえたので復習にも役立てることが出来る	1
	本邦の人口は少子高齢化となり人口全体として減少している。この疾患の年齢は労働人口（15～64歳）と重なるため、今後も同じだと予想される。労働世代が精神疾患の治療→完治→就労へ導かないと、この世代が高齢世代を负担するには限界があると思う。社会として未然に防げるような体制をとってほしいと思った	1
	講演3について、1969年の研究を統計的に正しいかどうか疑問があるものなのに発表するのはどうなのかと思った。講演内容についての確認や話してほしい内容の提示など、運営側からアプローチがあってもよいのではないかと思う	1
	略歴の紹介はレジメにのせて、短めにすませてほしい	1
	講義中は教室を暗くしてほしい	1
	会場が寒かった	1